

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **山鹿-女46**

年月日 2019年8月8日(木)
 大会名 令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A	大分高等学校						白梅学園高等学校						B	
都道府県	熊本県		市町村	山鹿市		会場	山鹿市総合体育館						回戦	準決勝
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加	A	B
	13	15		22	26									
7m得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数			
	0/0		1	2 後半	3	1	2	3	4/4					
			2228	0453	2313									

No.	大分高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	白梅学園高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	廣田 美月	1						1	木村 百花						
2	清水 愛果	1						2 C	高橋 弥那	1					
3	本田 早留香							3	平野 早姫	8					
4	後藤 真子							4	小宮山 果歩	4		1			
5	三浦 那月	4	1					5	大谷 彩乃	3					
6	高橋 舞	4						6	布施 蓮	3					
7	竹ノ下 あかり							7	伊藤 結衣	6					
8 C	後藤 ほたる	3						8	青木 里奈	1					
9	高橋 唯	6		1				9	篠崎 来美						
10	萩尾 ほのか	2	1					10	小山 愛莉						
11	山崎 晶	1						11	佐藤 蘭						
12	幡東 妃美希							12	上石 奈津子						
13	堤 千葉留							13	叶谷 紅名						
14	山口 映							14	細谷 琳花						
役員A	瀧元 泰昭							役員A	須川 文敬						
役員B	東恩納 健							役員B	榎本 満里奈						
役員C	阿南 凧都							役員C	田中 久樹						
役員D								役員D							

A 瀧元泰昭 チーム役員A署名 須川文敬 B

レフェリー	太田 直希	西山 周良	<u>太田直希</u>	<u>西山周良</u>
TD	石崎 章弘	永守 浩之	<u>石崎章弘</u>	<u>永守浩之</u>
MO	武智 誠治		<u>武智誠治</u>	

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 8日 木曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	女子
回戦	準決勝戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		大分	22	13-15 後半 9-11	26
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>大分高等学校のスローオフ。白梅は4-2ディフェンスで高い位置から堅守を展開。大分は、正確な速いボール回しで高橋(唯)が先制。白梅も小宮山のステップシュートで応戦。白梅の攻撃は、序盤から7人攻撃で、ワイドな速いボール回しからポストやサイドへのパスをだした。前半を通し7mTが4本あり、伊藤は確実にゴールした。対する大分は後藤(ほ)や高橋(舞)、高橋(唯)が得点する。序盤12分で白梅伊藤が2本目の7mTを確実に決め5-5の同点。ここからも取って取られてのシーソーゲームが続く。大分高橋(唯)、後藤(ほ)の鋭いカットインから2点のリードを奪うが、白梅はポストを絡めた攻撃ですぐに追いつく。さらに、徹底した7人攻撃で大分に退場者を誘うプレーで伊藤のポストシュートなどで、終盤22分で11-10と逆転する。大分は後藤(ほ)のカットイン、三浦の絶妙なサイドからのループシュートを決めるも、白梅は平野と青木のサイドシュート、大谷のポストシュートで加点し、15-13の2点リードで前半終了。</p>
後半	
<p>後半の中盤までは、白梅が主導権を握った。出だしは布施のカットイン、ウィング平野の連続サイドシュートで3連続得点。この試合最大の5点差がつき、大分がタイムアウト。大分は、さらに速い足さばきとボール回しでディフェンス突破を試み、清水がポストシュートで得点。しかし、長身選手をトップに据えた白梅のディフェンスは、長い手と豊富なフットワークで大分のバックプレーヤー陣にプレッシャーをかけ続ける。大分のセンター清水の負傷退場もあり、12分経過して、白梅は7点差をつける。GKの木村は相手GKからのキーパーシュートを渾身のジャンプで防ぐ好セーブも見せた。大分は、足を止めない集中したディフェンスから反撃し、18分過ぎにGK廣田のキーパーシュートが決まり4点差まで追い上げる。終盤、白梅は6人攻撃に切り替え、巧みな手渡し等で攻撃を見せながら、高橋と小宮山がミドルシュートを決める。攻撃的なディフェンスも崩れることはなく、連続失点をしない。速い動きとパスワークで攻め続ける大分も三浦、高橋(舞)、高橋(唯)、山崎で加点するが、白梅も平野、小宮山、布施らが加点し、26-22の4点差で勝利し、決勝の舞台へ駒を進めた。</p>	

記入者	野口 浩司
-----	-------